



岐阜市立岐阜東幼稚園
令和3年3月5日
こあら組だより No.36

「背中を洗ってもらえませんか?」「いいです。メー」

今週はお面に加えて、ベスト・スカートなどの衣装も作ったので、よりうれしそうに『もりのおふろ』の遊びを楽しんでいます。Aさんは、大好きなうさぎの役です。友達から呼ばれると、「はーい」と返事をして手の平を頭の上につけてピョンピョンと跳ねながら登場して来ます。

コロナの緊急宣言が解除されたので、11日が生活楽しみ会です。ポンポンをお湯に見立てて友達と一緒に『もりのおふろ』のお湯の準備をするところは、絵本と違って、子供達のオリジナルです。ワニのBさんが、大きな声で「背中をあらってもらえませんか?」と言うと、羊のCさんは、「いいです。メー」と答えています。なりきって話していますが、まだ、『見てもらう』という観客を意識して体の向きをかえることは難しいですし、マスクをしているので声が聞こえづらかったりするかもしれませんが、温かい目で見ていただくとありがたいです。親子で『赤鬼と青鬼のタンゴ』を踊る予定をしていますので、お子さんと一緒に踊ってくださいね。



「鼻水が出る人、いませんか?」

遊びに使う物を工夫して作る姿が増えてきています。Dさんは、薬に見立ててヤクルト容器に刻んだ紙を入れています。こぼれないようにペットボトルのふたをつけています。薬の出し入れができるように1カ所だけテープを貼ってあるのです。芯や短く切った紙の剣を使って私と一緒に注射器も作りました。自分のイメージで熱を測る道具も作りました。菓子箱に仕切りをつけて、薬などのグッズが転がらないような工夫もしていました。

Dさんが「鼻水が出る人、いませんか」とお医者さんになりきって呼び掛けたので、私や友達がお医者さんを探ねました。「熱がありますね。注射をします。」となりきっています。手をけがしたという子は、腕まくりをしてお医者さんに見せていました。どの子も体験していることなので、イメージがもちやすいですね。

たいよう組さんへプレゼント作り

たいよう組さんは、野一色公園の遠足のとき、手をつないで連れて行ってくれたり、泣いているときに「どうしたの?」と優しく聞いてくれたりしてくれました。たいよう組さんも卒園して小学校入学です。

そこで、「ありがとう」の気持ちを込めて、メモスタンドを作ることにしました。教師が牛乳パックで土台のケースを準備し、なつめ組さんがそこに色紙粘土を詰め、メモクリップを立ててくれました。こあら組の子は、キャップを並べたアイテムに宝石(ビーズ)を1つずつ入れて10個数え、紙粘土に埋め込んで飾りました。ていねいに作っていました。お別れ会でプレゼントを渡します。

